

西暦年	年	代金(文)	豆腐(丁)	単価(文)	代金(文)	油揚(丁)	単価(文)	代金(匁)	種油(合)	単価(匁)	豆腐と油揚および買い物に関する特記事項
1805	文化2	532	28	19				2.1	7	0.3	
1806	文化3	483	27	17.88				1.4	5	0.28	
1808	文化5	494	26	19				1.75	5	0.35	
1809	文化6	442	26	17				1.75	5	0.35	豆腐3者(八幡屋・浦九・海老屋)から購入。来年は2丁増やす積り
1810	文化7	413	27.5					1.75	5	0.35	豆腐2者(海老屋・八幡屋)から購入
1811	文化8										記録なし(「書付不見」)
1812	文化9	450	30	15				1.8	6	0.3	豆腐3者から購入
1813	文化10	2.73	17					1.15	3.5	0.32	
1814	文化11	286	18	15.88				1.5	3.5	0.42	豆腐2者から購入
1815	文化12	288	18	16				0.83	3	0.27	豆腐2者から購入、油屋と兵衛→庄右衛門へ変更
1816	文化13	232	14	16.57				0.75	3	0.25	豆腐2者から購入
1818	文政1	280	14	20				0.75	3	0.25	豆腐3者から購入。御上様と本家に油揚を持たせ遣わす。豆腐1つ2つ余る
1819	文政2	210	14	15				0.81	3	0.27	豆腐海老屋のみ、油屋と兵衛
1820	文政3	286	17	16.82				0.93	3	0.31	豆腐代2.6匁。ほかに客として座頭3人
1821	文政4	255	15	17	19	(5つ)	3.8	0.9	3	0.3	豆腐海老屋と大黒屋、油揚大黒屋から購入
1822	文政5										記録なし(「書付不見」)
1823	文政6	2.69	15					0.81	3	0.27	豆腐海老屋と大黒屋
1824	文政7	272	16	17				1.18	4	0.29	豆腐海老屋と浦井治兵衛
1825	文政8	352	16	22				140	4		豆腐海老屋と浦井治兵衛。本家へ油揚五つ持たせ遣わす
1826	文政9	360	18	20				164	4		本家へ油揚五つ持たせ遣わす。不足にもならず
1827	文政10	320	16	20				120	3		「人中にても豆腐は宜敷御座候」
1828	文政11	3.75	18					1.2	3	0.4	
1829	文政12	3.75	18					0.99	3	0.33	
1830	文政13	490	21	23.33				0.9	3	0.3	3人の押懸客により海老屋に豆腐取り寄せ
1831	天保2	342	18	19				1.17	3.5	0.33	油半合は仏様違い(灯明)、余った油揚を夜六半時に参った宝崎村喜兵衛に喰わせた
1832	天保3	396	18	22	(0.6匁)		2 (0.3匁)	180	3		客が増えたのでにわかにも豆腐取り寄せ
1833	天保4										記録なし(「書付なし」)
1834	天保5	380	20	19				174	3		豆腐は手前揚げにして足りるが、にわかにも油揚取り寄せ
1835	天保6	22	1	22	320	8	40				油買わず
1836	天保7										記録なし(「書付なし」)
1837	天保8				448	8	56				
1838	天保9										記録なし(「書付不見」)
1839	天保10										記録なし(「書付不見」)
1840	天保11										記録なし(「書付不見」)
1841	天保12				1296	27	56				油揚2回買う
1842	天保13	32	1	32	1056	22	56				豆腐32文、油揚48文、「当年は殊の外年柄宜敷」、米一俵15匁
1843	天保14	10	0.5		1104	23	56				ほか、豆腐は焼豆腐10個
1844	天保15				910	22.5	56				
1845	弘化2				1120	20	56				ほか、焼豆腐1丁32文
1846	弘化3										記録なし(「書付なし」)
1847	弘化4										記録なし(「書付なし」)
1848	嘉永1				224	3.5	56				油揚のほか、赤小豆、人参、芋、牛房、こんにやくも購入
1849	嘉永2				(1.4匁)	(20枚)	(0.07匁)				油揚のほか、小豆、人参、芋、牛房、こんにやく、木茸、かぶらも購入
1850	嘉永3										「客之分者米高直二付俵約故久兵衛乳母二人斗」
1851	嘉永4	144	6	24							油揚なし。大根なども。
1852	嘉永5	96	3.5	27.42							油揚なし。「当年米高直故客者不仕候」
1853	嘉永6				243	?					
1854	嘉永7	81	3	27	256	30	8.53				
1855	安政2										焼豆腐20は72文、かぶらなど
1856	安政3				(2.38匁)	36	(0.066匁)				あずきなど
1857	安政4				280	35	8				
1858	安政5				280	35	8				495文=4.67匁
1859	安政6										記録なし
1860	万延1										記録なし
1861	文久1										記録なし
1862	文久2										記録なし
1863	文久3										記録なし
1864	元治1										記録なし
1865	慶応1										記録なし
1866	慶応2										記録なし
1867	慶応3	0.55	1		12.5匁	50	(0.25匁)				豆腐は寄せ豆腐
1868	明治1	1.2	1		21匁	60	(0.35匁)				
1869	明治2										諸色沸騰するも、老日那の助力により惣報恩講実施(購入記録なし)